

## 平成29年度 放課後等デイサービス自己評価表

(数値は%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	85.7		14.3	一日あたりの利用人数に対し、訓練等スペースは確保できている状況です。しかし小学部から高等部まで活動しているため、今年度訓練室に間仕切りカーテンを設置し、利用者さんが活動に集中できる環境作りに配慮しました。
	②	職員の配置数は適切であるか	71.4	28.6		現在、9名の職員を配置しており、適切な職員配置となっています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	85.7	14.3		事業所内・外ともバリアフリー化されており、利用しやすい環境を整えています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	83.3	16.7		定期的ミーティングの機会を設け、日々の振り返りを行い、職員間で目標や改善点を共有するよう努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	66.7	33.3		保護者の皆様へアンケートを実施し、いただいたご意見については、問題・課題等があればその都度改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	16.7	16.7	66.6	平成30年度当初にホームページを開設し、自己評価結果を公表する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40.0	40.0	20.0	現在、第三者による外部評価は実施しておりませんが、監督官庁による定期的な実地指導を受け、指摘があれば改善し報告しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	57.1	42.9		平成30年4月、常勤・非常勤の区別なく受講でき、かつキャリアパス基準とも対応するよう、職員研修が制度化されました。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83.3	16.7		計画の際には、保護者個々にアセスメントしますが、必要に応じて学校との連携や相談支援専門員を同席するなどして、子どもや保護者のニーズに添った計画を作成するようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40.0	60.0		現在は、日常生活スキル、コミュニケーション、社会性、健康面などを中心にアセスメントを行っています。今後は、一人ひとりのモニタリング結果から、よりサービス計画に適したアセスメントツールとなるよう工夫していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	57.1	42.9		担当者が活動プログラムの原案を作成し、職員間で意見やアイデアを出し合い立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	57.1	42.9		平日は活動時間が限られているため、固定されがちになるので、できるだけ固定化されないよう工夫していきます。
	⑬	平日・休日・長期休業に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	71.4		28.6	平日、長期休暇に応じて活動プログラムを設定し、支援するよう心がけています。今後、子どもの特性に合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、きめ細かい支援が行えるよう検討していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	33.3	33.3	33.3	個別活動と集団活動を適宜組み合わせサービス計画を作成し、それに沿った支援を行うよう心がけています。
	⑮	支援開始前には職員間で打合わせをしその日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83.3	16.7		当日の活動計画や役割分担について、確認を行うようにしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	33.3	50.0	16.7	職員の退勤時間が異なるため、全員で毎日の振り返りは行えていないが、気づいた点は必ず記録し、ミーティング時に共有するようにしています。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	33.3	66.7		毎日個人ごとに、その日の様子や気づいた点を記録し、保護者にもお知らせしています。また、記録した内容は職員が閲覧し、支援に反映できるよう努めています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	40.0	60.0		6ヶ月ごとに、モニタリング・アセスメントを行い、サービス計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	40.0	60.0		ガイドラインに示す基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っています。ボランティアの受け入れ以外にも地域交流の機会を増やせるよう検討したいと考えています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80.0	20.0		会議には、児童発達管理責任者が参画しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100.0			学校との年間計画・行事予定等の情報共有や連絡調整は適切に行われており、活動計画に支障を来すような事態は生じていません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				現在該当なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60.0	40.0		利用開始時やその後に必要が生じた場合には、保育施設や相談支援事業所と連携し、情報共有と相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50.0	25.0	25.0	当事業所からの支援内容等の情報提供は、保護者の同意を得た上で行うようにしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50.0	50.0		現在、専門機関から助言・指導等を受けた例はありませんが、会議や研修等の機会があれば積極的に参加したいと考えています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50.0	50.0		現段階では、交流や活動の機会はありませんが、今後地域の行事などをつづじて、他の子どもたちとの交流や活動の機会を設けたいと思います。
	㉗	協議会等へ積極的に参加しているか	60.0	20.0	20.0	部会や協議会には、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	50.0	50.0		子どもの状況は活動記録で共通理解を持てるよう努めていますが、送迎の際は十分伝え合えないことがあります。今後も共通理解を深められるよう努めてきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		80.0	20.0	これまで、保護者に具体的なペアレントトレーニングを行った例はありませんが、送迎時や面談時に日々の困りごとや悩み事などが話題になることはありますので、専門研修を受講させ対応できるようにしています。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	33.3	50.0	16.7	契約時に、運営規定、重要事項説明書などの説明を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80.0	20.0		保護者から相談があれば、適宜面談を行っています。必要時には他の機関と連携し対応にあたることとしています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40.0	60.0		現在、保護者会の開催は行っていません。今後は、保護者の方々の意向を踏まえながら検討していきます。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40.0	60.0		苦情対応の体制を整備し、苦情受付窓口等について、重要事項説明書に記載し、説明しています。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	85.7	14.3		毎月、活動の概要や行事予定などを定期的にお便りでお知らせしています。今後は、ホームページ上でも随時発信して行きたいと考えています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	71.4	28.6		個人情報は、個人ごとに台帳に整理し、所定の場所に保管・管理しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	85.7	14.3		個々の状況に応じて、できるだけ分かりやすく伝え意思疎通が図られるよう配慮しています。保護者とは、送迎時や毎日の活動記録帳で、情報伝達や意思の疎通を図っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33.3	33.3	33.3	移転して間もないため、地域との交流は十分ではありませんが、今後地域の皆さんも参加できるイベントを企画したいと考えています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100.0			緊急対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員間で共有するとともに保護者にも周知しています。防犯マニュアルは、内容を整備し策定していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100.0			年2回、消防職員立ち会いで避難訓練と初期消火訓練を実施しています。また、心肺蘇生法やAEDの使用方法についても不定期ですが実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	16.7	83.3		職員に虐待防止研修を受講させ、研修で得られた知識・技能を職員間で共有するようにしています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50.0	50.0		現在該当ありません。また、これまでも身体拘束を必要とするケースはありませんでした。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	66.4	16.7	16.7	重篤な症状に至るアレルギーのある子どもはいませんが、おやつ提供時には保護者からの情報を得て、家庭と同様の対応をするようにしています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	25.5	50.0	25.5	ヒヤリハット事例が生じた場合は、既定の用紙により原因・対策等を検証し、職員間で共有することで、事故を未然に防止するよう努めています。